ハンドマイク街頭演説原稿例　裏金問題で自民党に強制捜査

二〇二三年十二月二一日　日本共産党埼玉県委員会・作成

　ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。この場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

　みなさん、派閥パーティーの裏金問題で自民党に強制捜査が行われ、ついに刑事事件に発展しました。自民党内最大の派閥である安倍派では、パーティー券の販売ノルマを超えて集めたお金を議員側に返すキックバックが組織的に行われ、２０２２年までの５年間で総額５億円にものぼるとみられます。二階派では、１億円と言われ、麻生派などでも疑惑が報じられています。自民党全体が組織ぐるみで自動的に裏金をつくっていた、まさに戦後最悪の金権腐敗事件です。自民党総裁である岸田首相の責任はきわめて重大であり、大臣の更迭など内閣改造や党内人事でうやむやにできるものではありません。岸田首相は捜査の進展を見て、必要な対応をする旨の発言をしていますが、まるで他人ごとです。検察の捜査に丸投げすることは許されません。岸田首相が真相解明の陣頭指揮にあたり、徹底的に改善すべきです。同時に、検察の捜査とは別に、ロッキード事件の時のように「国政調査権」と発動するなど、国会としての役割を発揮すべきです。派閥の歴代事務総長など関係者を証人喚問するなど、国会が真相究明を徹底的に行うよう強く求めます。

今回の事件は、１９９４年に「政治改革」と称しながら、団体によるパーティー券購入を認めた政治資金規正法改定がなされ、その「法の大穴」を利用して、自民党側が錬金術のように資金をつくったものです。今回の裏金疑惑をうけ、日本共産党国会議員団は、政治資金パーティーも含めた「企業・団体献金全面禁止法案」を参議院に提出しました。企業・団体献金や政党助成金を一切受け取らない日本共産党だからこそ、今回の裏金疑惑でも厳しく追及し、大本から変えることができます。来る総選挙では、日本共産党を大きく伸ばしていただき、自民党の金権腐敗政治を一掃していこうではありませんか。大きなご支援をよろしくお願いします。

　みなさん、岸田自公政権と自民党の支持率はどの世論調査でも１割から２割台ともはや国民の信任を完全に失っています。にもかかわらず、マイナンバーカード一本化に伴う保険証廃止、インボイスの強行、殺傷能力のある兵器の輸出解禁、８兆円もの空前の大軍拡など批判の強い政策を次々と進めています。まさに火事場泥棒というべき事態であり、到底許さません。「岸田首相は解散・総選挙で国民の信を問え」。この声を大きく広げ、自民党政治を今度こそ終わらせようではありませんか。市民と野党の共闘を前に進める日本共産党へのお力添えをよろしくお願いします。

　最後に、いま大問題となっている裏金疑惑は、昨年１１月の「しんぶん赤旗」のスクープ報道がきっかけとなりました。どんな問題でもタブーなく真実を伝える「しんぶん赤旗」をこの機会にぜひお読みいただきますようお願いいたしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）